

豊かな自然とやさしさあふれる島根が
あなたを必要としています

【しまねの医師支援】 GUIDE BOOK

2020

島根県健康福祉部医療政策課
医師確保対策室



【しまねの医師支援】 GUIDE BOOK

2020

島根県健康福祉部医療政策課
医師確保対策室

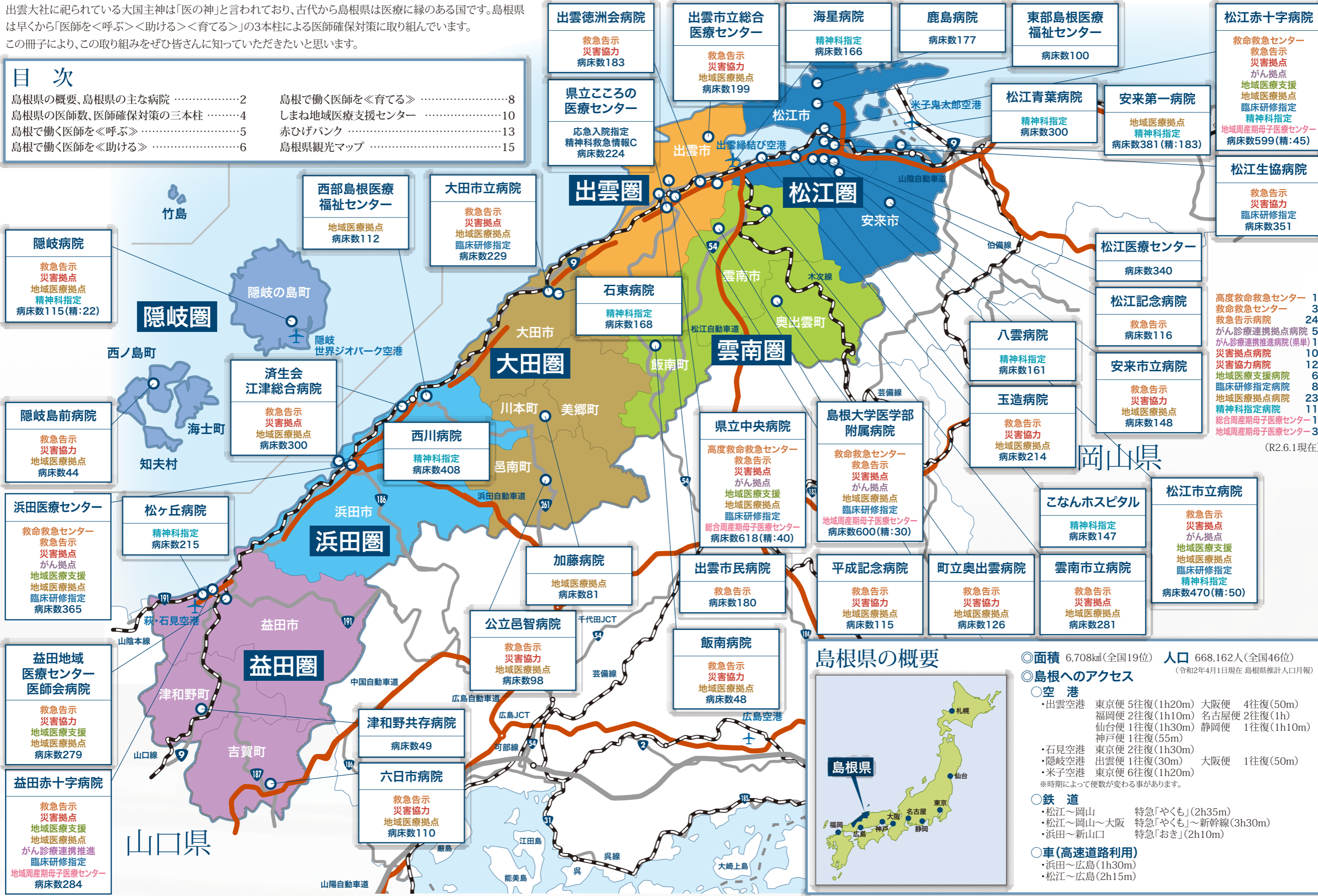
〒690-8501 島根県松江市殿町1番地 TEL.0852-22-6683 FAX.0852-22-6040
E-mail:iryou-ishi@pref.shimane.lg.jp

島根の医師確保対策

出雲大社に祀られている大国主神は「医の神」と言われており、古代から島根県は医療に縁のある国です。島根県は早くから「医師を<呼ぶ><助ける><育てる>」の3本柱による医師確保対策に取り組んでいます。この冊子により、この取り組みをぜひ皆さんに知っていただきたいと思ひます。

目次

| | | | |
|--------------------|---|---------------|----|
| 島根県の概要、島根県の主な病院 | 2 | 島根で働く医師を<育てる> | 8 |
| 島根県の医師数、医師確保対策の3本柱 | 4 | しまね地域医療支援センター | 10 |
| 島根で働く医師を<呼ぶ> | 5 | 赤ひげバンク | 13 |
| 島根で働く医師を<助ける> | 6 | 島根県観光マップ | 15 |



- 高度救命救急センター 1
 - 救命救急センター 3
 - 救急告示病院 24
 - がん診療連携拠点病院 5
 - がん診療連携推進病院(県単) 10
 - 災害拠点病院 1
 - 災害協力病院 12
 - 地域医療支援病院 6
 - 臨床研修指定病院 8
 - 地域医療拠点病院 23
 - 精神科指定病院 11
 - 総合周産期母子医療センター 1
 - 地域周産期母子医療センター 3
- (R2.6.1現在)

島根県の概要



- ◎面積 6,708km²(全国19位) 人口 668,162人(全国46位)
(令和2年4月1日現在 島根県推計人口月報)
- ◎島根へのアクセス
- 空港
 - ・出雲空港 東京便 5往復(1h20m) 大阪便 4往復(50m)
福岡便 2往復(1h10m) 名古屋便 2往復(1h)
仙台便 1往復(1h30m) 静岡便 1往復(1h10m)
神戸便 1往復(55m)
 - ・石見空港 東京便 2往復(1h30m)
 - ・隠岐空港 出雲便 1往復(30m) 大阪便 1往復(50m)
 - ・米子空港 東京便 6往復(1h20m)
 - ※時期によって便数が変わる事があります。
- 鉄道
 - ・松江～岡山 特急「やくも」(2h35m)
 - ・松江～岡山～大阪 特急「やくも」～新幹線(3h30m)
 - ・浜田～新山口 特急「おき」(2h10m)
- 車(高速道路利用)
 - ・浜田～広島(1h30m)
 - ・松江～広島(2h15m)

医師確保対策事業

医師確保対策の三本柱

島根で働く医師を《呼ぶ》

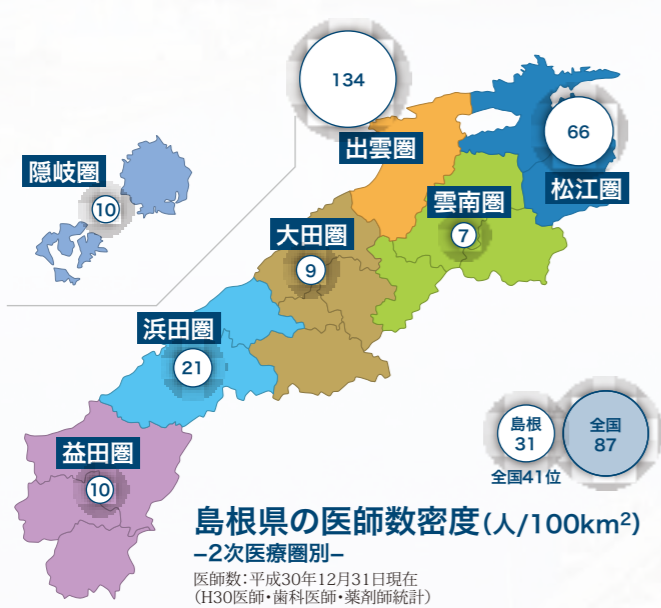
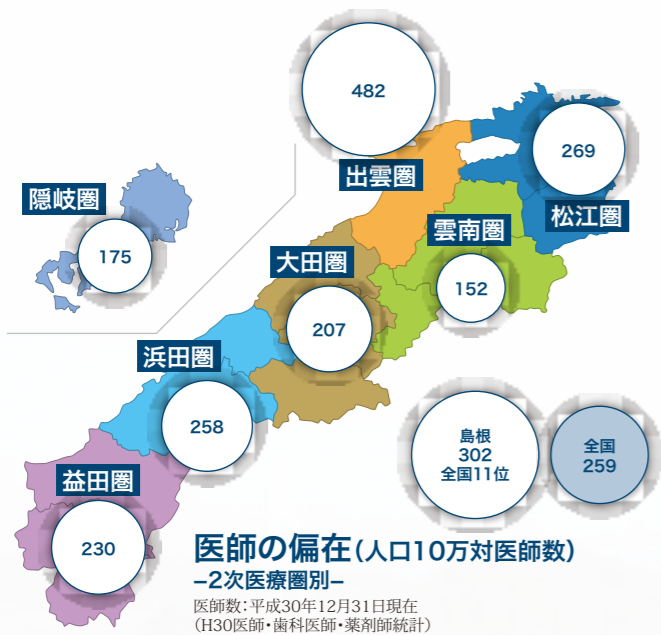
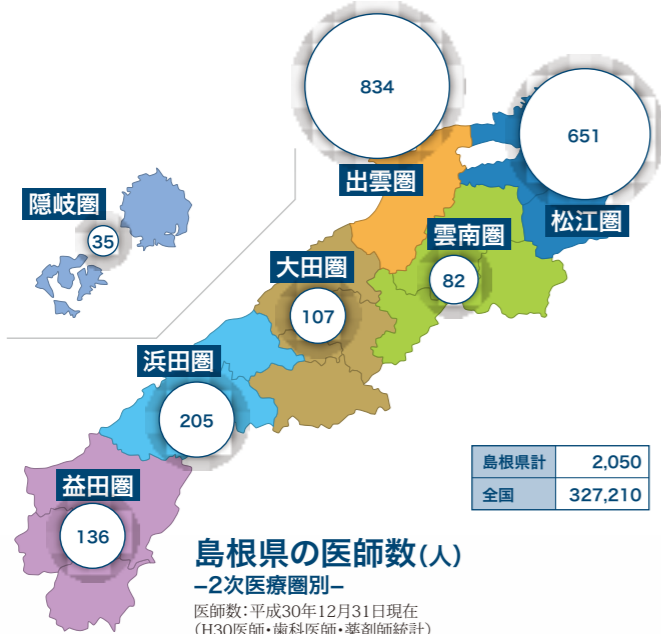
〈赤ひげバンク H14〜〉 >>> P5上
 〈積極的な医師面談〉
 各種広報媒体を活用した情報収集により県外医師との面談に出向いて、県内で働く医師を招へいする
 【出張訪問面談】
 H29:13名、H30:19名、R1:6名
 〈地域医療視察ツアー〉 >>> P5中
 〈地域勤務医師確保枠(研修サポート) H14〜〉 >>> P5下
 地域医療に将来携わる医師、専門研修を希望する医師を招へいし、県立病院で研修後、地域医療機関に勤務

島根で働く医師を《助ける》

〈島根県地域医療支援会議 H14〜〉
 自治医大卒業等の派遣調整
 〈代診医の派遣 H12〜〉 >>> P6上
 診療所等で働く医師が学会や研修会に参加できるように県立病院の医師が代診(H29:315日、H30:371日、R1:539日)
 〈ブロック制 H7〜〉 >>> P6下
 病院と診療所の医師が交代で勤務し、地域全体で患者さんを支える仕組み
 〈防災ヘリ、ドクターヘリ〉 >>> P7
 受入側病院医師が同乗した防災ヘリによる転院搬送(H10〜)
 ドクターヘリ運航開始(H23〜)
 中国5県ドクターヘリによる広域連携開始(H25〜)
 〈隠岐島遠隔医療支援システム H11〜〉
 遠隔放射線画像システム、遠隔カンファレンスシステム
 〈地域医療拠点病院 H15〜〉
 23病院を指定
 〈しまね地域医療の会 H16〜〉
 地域医療に関する情報交換の場

島根で働く医師を《育てる》

〈自治医科大学〉
 全都道府県共同で運営
 〈奨学金制度〉 >>> P9
 将来県内で働くことを条件に奨学金を貸与
 〈研修医等定着特別対策事業〉
 ①学生・研修医への働きかけ H14〜
 地域医療に目を向けてもらうため、医学部学生を対象に夏季・春季実習等を開催
 ②魅力ある研修病院づくり H17〜
 研修プログラム発展講習会、指導医講習会等を実施し、研修環境の整備を図る
 〈寄附講座「島根大学医学部 地域医療支援学講座」の設置 H22〜〉
 医学生等が、地域医療に興味を持ち、地域医療へのモチベーションを膨らませながら医師としてキャリアアップし、県内の医療機関で安心して働ける環境づくりを支援
 〈しまね地域医療支援センター〉 >>> P10



島根県の医師確保対策事業 01 島根で働く医師を《呼ぶ》

赤ひげバンク(医療従事者無料職業紹介所)

赤ひげバンクでは、県外の医師等とネットワークをつくり、地域医療を志す医師を招へいするために、定期的に島根県の地域医療に関する情報などを提供しています。ぜひ、赤ひげバンクにご登録ください。 [詳細は13pをご覧ください>>](#)

島根県の地域医療視察ツアー

医師やご家族に、まちの雰囲気や病院、診療所を実際にご視察いただくツアーです。日程や視察コースは、ご希望に沿いながら話し合いで決めていきますので、お気軽にご連絡ください。買物や教育など生活環境の視察もできます。

- 【対象】 県外で勤務されている医師で、将来島根県での勤務を希望される医師及びそのご家族
- 【視察ツアーの費用】 県の規程に基づき旅費を負担します。
- 【視察ツアーの実績】 ・H29:10件 ・H30:23件 ・R1:12件

申込方法 下記申込み先までご連絡ください。

<申し込み及びお問い合わせ先>

島根県 健康福祉部 医療政策課 医師確保対策室
 TEL0852-22-6683 FAX0852-22-6040 E-mail: akahigebank@pref.shimane.lg.jp

研修サポート制度(地域勤務医師確保枠)

地域医療に興味はあるものの、いきなり地域へ赴任するのは躊躇される医師も多いと思われます。島根県ではこうした方を対象とした、研修サポート制度(地域勤務医師確保枠)を設けています。地域勤務される前に県立中央病院で研修(1ヶ月から2年程度)を、県職員としての身分で受け、その後研修期間と同期間、地域医療機関に勤務していただくものです。赴任先は、研修中に選定することも可能ですので、県内各病院を実際に見て回ったり、非常勤として当該病院の診療に当たることもできます。また、逆に地域医療を先に経験した後で、不足するスキルなどの研修を県立中央病院で受けることも可能です。

医歴5年程度の医師の方

地域勤務医師確保枠に、総合診療専門医育成コースも用意しています。こちらは、県立中央病院など高次機能病院での研修と、離島や中山間地域での実地研修を繰り返していくものです。地域では、自治医大卒業生など経験豊富な医師による指導やサポートが受けられます。

医歴10年程度の医師の方

自分の専門以外の分野のスキルアップをしてから地域へ赴任する短期研修と、別の分野の専門研修を受けて専門医を取得してから赴任する長期研修のどちらも可能です。短期研修では、common diseaseの初期治療などの研修を受けることができます。長期研修では、医師が不足している診療科などでの専門研修を受けることができます。

医歴20年程度の医師の方

地域で頻繁に遭遇する処置や手技を修得する研修を受けることができます。縫合、骨折患者へのシーネ固定、鼻出血の止血、心肺停止患者の救急蘇生など。

医歴30年程度の医師の方

開業以外の選択肢として挙げられる、①地域中小規模病院、②へき地公的診療所、③老人保健施設・療養型病院へ赴任する前に、診療のスキルアップ研修や、診療以外のマネジメント、リーダーシップなどの研修を受けることもできます。

島根で働く医師を《助ける》

へき地代診医派遣制度

へき地、離島等の公立医療機関に勤務する医師の休暇(学会出張、研修、産休、育休など)による不在を補うため、県立病院から代診医師を派遣します。

医療機関における勤務環境の改善支援

医療勤務環境改善支援センターを設置し、医師の業務負担軽減や働きやすい環境づくりを行う医療機関を支援しています。

【支援内容】・医師の働き方改革に関する普及啓発 ・労務管理に関する相談などへの専門アドバイザーの派遣
・院内保育所の運営支援

地域勤務医師応援事業

医師が不足している県内の過疎地域、離島の医療機関の取組みを支援しています。

【支援内容】・医師の負担軽減のために非常勤医師の応援を受けるための交通費等

地域医療支援ブロック制度

各地域の中核となる病院と診療所との間で医師が曜日ごとに交代で勤務する仕組みです。

【診療所医師のメリット】

・病院での検査・治療に参画できる。 [隠岐島前病院と各診療所との医師相互連携]
・孤独感の軽減

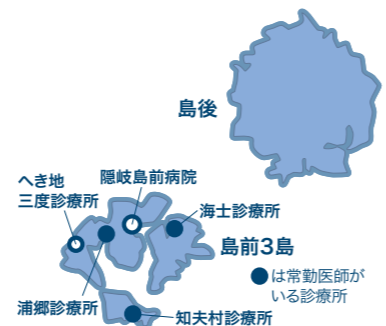
【地域住民のメリット】

・診療所では常勤医以外の医師による診療も受けることができる。

【実施地域】

- ・隠岐島前ブロック
- ・隠岐島後ブロック
- ・飯南ブロック
- ・浜田ブロック

【事例】隠岐島前ブロック



島根で働く医師を《助ける》

島根県ドクターヘリ

1998年から、県の「防災ヘリ」等に受入側病院の医師が同乗して患者の搬送を行うとともに、2011年6月からは島根県立中央病院を基地病院として、「ドクターヘリ」を運航しています。さらに、2013年5月から中国5県による広域連携が始まりました。東西に長い島根県にとって一層の救命率の向上と後遺症軽減に向け、円滑な運航体制を整えています。

また、医療スタッフが不足する地域に医師、看護師がドクターヘリに同乗して患者を迎えに行き転院搬送することで、救急医療体制の充実、地域医療機能の補完が図られています。

島根県ドクターヘリの運航概要

- (1)基地病院 島根県立中央病院
- (2)運航方法 機体を含め民間業者に委託
- (3)運航範囲 島根県全域
※広域連携により、鳥取・広島県の一部を含む。
- (4)運航時間 8:30～17:15
(日没時間を考慮し、終了時間を45分増減)

特徴

- 全国トップクラスの運航時間をもって県内をカバー
- R1運航時間:396時間



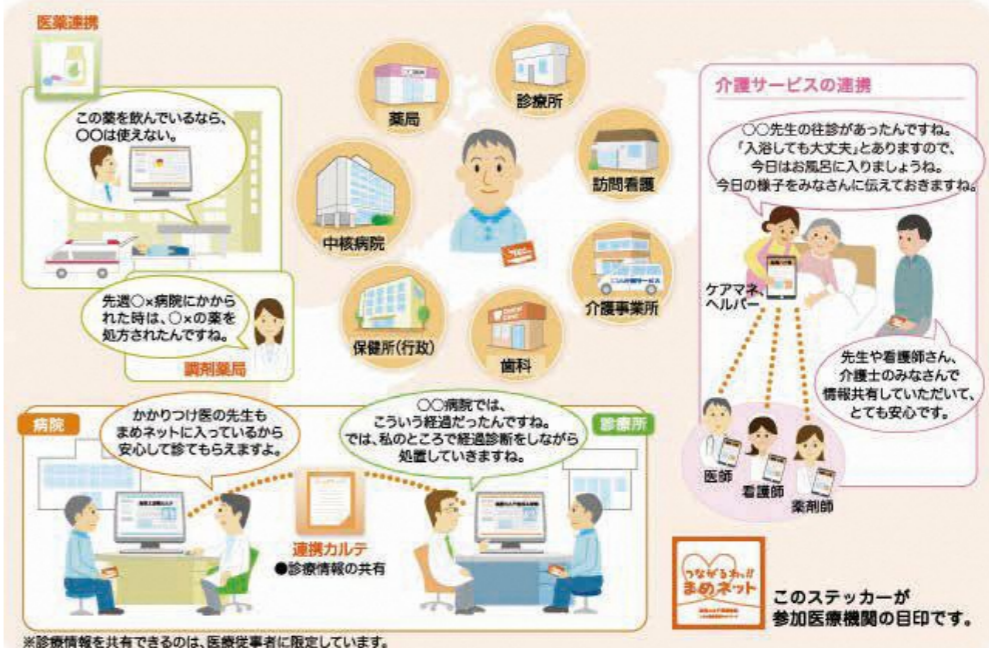
全県医療情報ネットワーク

1999年以降、島根大学医学部附属病院や県立中央病院を拠点とした遠隔画像診断システム、遠隔診療支援のためのテレビ会議システムなど、ITを活用した様々なシステムが稼働してきました。

2013年1月からは、迅速かつ円滑な医療機関間連携の一層の促進を図るため、新たに県内全域の医療機関をつなぐ「しまね医療情報ネットワーク(愛称:まめネット)」を構築し、検査・薬歴などの診療情報の共有や紹介状の送受信を行うシステム等の運用を開始しました。(2020年2月28日現在の登録施設数:870件、県民の参加者数57,658枚)

すべては患者さんの安心・安全のために。

島根県内の中核病院をはじめとして、各地の医療機関、訪問看護、介護事業所が繋がります。



※診療情報を共有できるのは、医療従事者に限定しています。

島根県の医師確保対策事業 03

島根で働く医師を《育てる》

「地域医療」をテーマとした授業の実施 **小学生・中学生対象**

「ふるさと教育」などを活用し、児童・生徒が地域医療の実情を理解するとともに、医療従事者を目指すきっかけとなるような地域医療教育を実施します。

中学生・高校生医療現場体験 **中学生・高校生対象**

県内中学生・高校生を対象に、医療現場での体験・学習を通し、医師の仕事や地域医療についての理解を深めるための『高校生医療現場体験セミナー』を平成18年度より、「中学生地域医療現場体験」を平成22年度より実施しています。

【セミナー開催時期】 夏休み、冬休み及び春休み期間中

【体験、研修メニュー】

- ・医療現場視察、体験(救急、血圧測定、手術、臨床検査、レントゲンなど)
- ・地域医療講話(島根県の地域医療の現状や課題など)
- ・医師の体験談(医師による体験談、若手医師との懇談など)

【受入医療機関】 県内医療機関



血圧測定

春季・夏季地域医療実習 **医学生対象**

医学生を対象とした中山間地や離島の医療機関等での医療実習です。

- 【対象】 1.島根県出身の自治医科大学在学中の医学生
2.島根県から奨学金の貸与を受けた医学生
3.島根県の地域医療に興味を持つ医学生(大学や出身は問いません。)

【実施時期】 年に2回 春季・夏季の長期休業の時期に実施

【研修地域】 松江、雲南、出雲、大田、浜田、益田、隠岐島後、隠岐島前

【実習費用】

実習先までの交通費や宿泊費の一部を規程により支給します。(実習期間中は傷害保険及び損害保険に加入)



実習風景

島根県内の主な病院



松江赤十字病院



浜田医療センター

島根県の医師確保対策事業 03

島根で働く医師を《育てる》

医学生のための奨学金制度 **医学生対象**

【対象者】

将来、島根県内の公的医療機関や中山間地等での勤務を志す医学生

- ・島根大学医学部地域枠推薦入学者(10名)
- ・島根大学医学部緊急医師確保対策枠推薦入学者(9名)
- ・島根大学医学部県内定着枠入学者(3名)
- ・全国の大学の医学生、大学院生(5名)

【貸与額】

- ・修学費(月額)100,000円
- ・授業料相当(年額)535,800円
- ・入学金相当282,000円(入学年のみ)

【返還の免除】

大学または大学院の課程を修了後、貸与期間の2倍の期間内に、島根県内で初期臨床研修を受け、かつ、その期間も含めて貸与期間の1.5倍に相当する期間を指定医療機関(うち貸与期間の2/3に相当する期間は特定地域医療機関)で勤務した場合、返還を免除

【対象者】

鳥取大学医学部島根県枠入学者(5名)

【貸与額】

- ・修学費(月額)100,000円
- ・入学金相当282,000円(入学年のみ)

【返還の免除】

大学の課程を修了後12年の間に、島根県内で初期臨床研修を受け、かつ、その期間も含めて6年間指定医療機関(うち3年間は特定地域医療機関)で勤務した場合、返還を免除

産婦人科医師のための研修支援資金制度 **研修医向け**

- 【対象者】 ・将来、島根県内で専門医取得を目指す臨床研修医(2名程度)
・専門研修プログラムにより研修を行う専攻医(2名程度)

- 【貸与額】 2,400千円/回 ※臨床研修医は2回まで、専攻医は3回まで貸与
※臨床研修中に貸与を受けた方は、申請により、引き続き1回に限り専攻医向けの貸与を受けることができます。

【返還の免除】

- ・臨床研修医……………臨床研修修了後、指定医療機関で3年間の専門研修を受けた場合
- ・専攻医……………専門研修修了後、以下の①又は②の場合
 - ①特定地域医療機関に貸与期間と同期間勤務した場合
 - ②特認指定医療機関(過疎地域以外に所在する公的病院等)に貸与期間の1.5倍の期間勤務した場合
- ・臨床研修に引き続き専門研修でも貸与を受けた専攻医…貸与期間終了後、以下の①又は②の場合
 - ①特定地域医療機関に3年間勤務した場合
 - ②特認指定医療機関(過疎地域以外に所在する公的病院等)に4.5年間勤務した場合

島根県内の主な病院



隠岐病院



雲南市立病院

島根県の医師確保対策事業 03

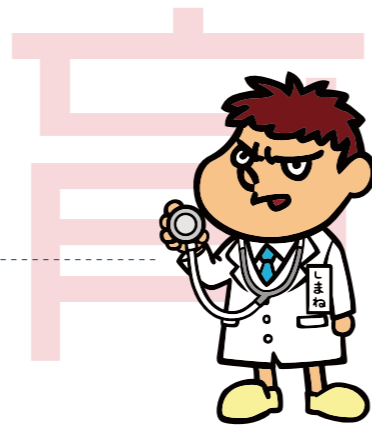
島根で働く医師を《育てる》

しまね地域医療支援センター

しまねを軸足にしてキャリアアップ

オールしまねで

若手医師のキャリア形成をサポートします



しまねで頑張る！
ドクター吉田くん
©DLE

しまね地域医療支援センターは、医療機関、医師会、大学、市町村、県が会員となって平成25年3月に設立された一般社団法人です。

支援センターでは、地域医療を目指す若手医師の皆さんが安心してしまねで活躍できるように、各種のサポートを行っています。

医師としてのやりがいと、しまねへの愛着を感じながらキャリアを積んでいただけるよう、全力で支援します。



主な取組内容

1. 医師のキャリア形成支援

- 支援対象となる医師と面談を行い、キャリアプランの作成を支援
- 研修・勤務先の調整や研修機会の提供
- 新専門医制度に対応したプログラムの情報収集・発信等

2. 充実した研修体制の推進

- 総合診療医等の育成のための支援ネットワークの推進
- 県内初期研修医のネットワーク化のための合同研修会
- 臨床研修病院連絡会
- 指導体制充実支援

3. 研修医確保に向けた情報発信

- ホームページやfacebook、マガジン等を活用し、県内医療機関の取組等地域医療に関する各種情報を発信
- 県内外で開催される研修病院説明会へ「オールしまね」で参加
- 県内医師と県外医学生・若手医師との交流会を首都圏等で開催

4. ワークライフバランスの推進

- 出産、育児後の女性医師等が安心して職場復帰できるための相談窓口を設置(えんネット) P12
- オナーメイド型の研修プログラムにより、復職に向けた研修を支援
- 専用のホームページの開設や情報誌等を発行し、情報発信

5. 医療状況の把握・分析

- 地域医療の充実に資する調査の実施

「一般社団法人 しまね地域医療支援センター」の概要

一人でも多くの若手医師に、しまねを中心に安心して研修・勤務してもらえるよう
“オールしまね”でキャリア形成等を支援する体制を構築

沿革

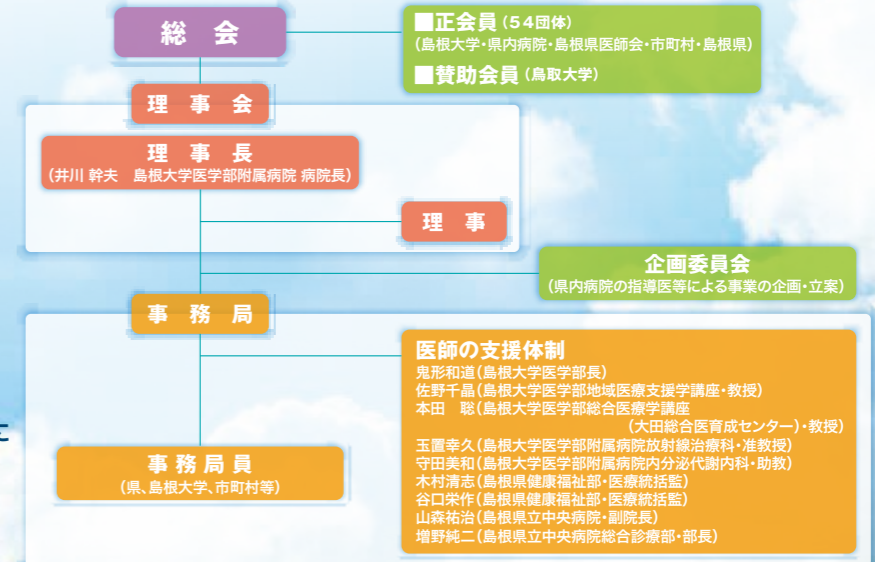
平成23年8月
しまね地域医療支援センターを
島根大学医学部と
島根県医療政策課内に開設

平成25年3月
一般社団法人
しまね地域医療支援センター設立

平成25年4月
島根大学医学部附属病院内に
事務所を開設し、事業スタート

平成25年8月
島根大学医学部附属病院みらい棟に
事務所移転

組織図



(令和2年4月現在)

問い合わせ先

一般社団法人

しまね地域医療支援センター

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
(島根大学医学部附属病院みらい棟1F)

TEL 0853-25-8326 (直通)
FAX 0853-25-8361
http://www.allshimane.jp/
メール:smc@allshimane.jp



支援センター入口前



島根県内の主な病院



県立中央病院



島根大学医学部附属病院

女性医師等の キャリア形成を支援

えん ネット

キャリア支援・両立支援

- **相談窓口**
支援担当者(女性医師)が相談に応じます。復帰に向けて些細なことでも気軽に相談して下さい。
- **復職支援**
スキルアップセンターでのトレーニングを促進しています。
- **就労環境改善の取り組み**
医師事務作業補助者研修会の支援などを行っています。
- **託児付きセミナー**
育児中の方でも気軽に参加できる、託児付きセミナーを共催しています。
- **女性医師と医学生による交流会**
女性医師と医学生との意見交換を行える場として、年2回程度交流会を開催しています。

育児・介護支援・情報提供

- 県内病院就労支援
- 県内自治体保育支援
- 支援情報へのリンク

学生教育

- **医師密着型実習**
島根で活躍する医師のもとで実習を行い、自分の将来像を探すことを目的とした実習です。
- **キャリア教育**
医学科4年生の学生を対象に男女共同参画講義を行っています。
- **ランチョンセミナー**
キャリア教育の一環として、大学の医師を講師に「学生のあなたに伝えたいこと」と題してセミナーを開催しています。

復職支援相談窓口

しまね地域医療支援センター



島根大学医学部地域医療支援学講座内



〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
島根大学医学部地域医療支援学講座内
TEL:0853-20-2396
E-mail:en-net@med.shimane-u.ac.jp



www.en-net.jp えん ネット 検索



島根県内の主な病院

令和2年5月7日新病院開院



大田市立病院



隠岐島前病院

赤ひげバンク(医療従事者無料職業紹介所)

赤ひげバンクは、平成14年度から県が取り組んでいる医師等医療従事者の登録制度です。登録者には定期的に島根県の地域医療に関する情報などを提供します。また、希望者には希望にマッチする医療機関を紹介します。ぜひ、赤ひげバンクにご登録ください。

【対象】

医師、看護師、医学生、看護学生、薬剤師など医療従事者

【情報提供等の内容】

- ・医療政策課の機関紙「島根の地域医療」
- ・医師求人情報、臨床研修病院情報
- ・地域医療実習等への参加案内
- ・地域医療セミナー、臨床研修ガイダンスなど各種イベント案内
- ・看護職員のための各種研修会、就職ガイダンス開催などの案内



医師募集キャラクター「赤ひげ先生」

※島根県での勤務や生活環境(子供の教育や住居等)など、様々な相談に専任の担当医師が休日夜間を問わず全国どこへでも面談に伺います。(秘密厳守いたします。)

赤ひげバンク登録者実績・医師招へい実績(R2.3末現在)

(単位:人)

| | 医師 | 歯科医師 | 医学部学生 | 看護学生 | その他の医療従事者(看護師等) | 合計 | |
|----------|-----|------|-------|------|-----------------|-------|-----|
| 現在登録者数 | 496 | 12 | 1,186 | 260 | 31 | 1,985 | |
| 平成21年度以降 | H21 | 16 | 2 | 17 | 31 | 1 | 67 |
| | H22 | 40 | 1 | 62 | 20 | 0 | 123 |
| | H23 | 51 | 0 | 92 | 55 | 9 | 207 |
| | H24 | 16 | 0 | 137 | 13 | 0 | 166 |
| | H25 | 23 | 0 | 117 | 14 | 0 | 153 |
| | H26 | 17 | 0 | 150 | 34 | 1 | 202 |
| | H27 | 18 | 1 | 96 | 17 | 1 | 133 |
| | H28 | 9 | 0 | 173 | 53 | 3 | 238 |
| | H29 | 13 | 0 | 146 | 1 | 1 | 161 |
| | H30 | 27 | 0 | 137 | 1 | 2 | 167 |
| | R1 | 18 | 4 | 201 | 0 | 0 | 223 |

| 年度 | 招へい実績数 |
|-----|--------|
| H14 | 5 |
| H15 | 1 |
| H16 | 7 |
| H17 | 2 |
| H18 | 8 |
| H19 | 1 |
| H20 | 19 |
| H21 | 14 |
| H22 | 21 |
| H23 | 15 |
| H24 | 14 |
| H25 | 9 |
| H26 | 10 |
| H27 | 14 |
| H28 | 9 |
| H29 | 9 |
| H30 | 14 |
| R1 | 7 |
| 合計 | 179 |

※年度内訳は新規登録者数。脱退者等があるため、合計とは一致しない。 ※医師以外の確保実績 H16:歯科医師2名、その他2名



赤ひげバンク

検索



http://www.pref.shimane.lg.jp/life/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/akahigebannku.html



島根県内の主な病院



松江市立病院



益田赤十字病院

赤ひげバンク登録申込書

※下記の項目に必要事項を記入し、お申し込みください。
※記入された情報は、島根県個人情報保護条例第2条に規定する「個人情報」として、条例の規定に基づき適正に管理するとともに目的外の利用はいたしません。

1.基本情報入力

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| 氏名 | フリガナ | 性別 | <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 |
| | | 生年月日 | 年 月 日 |
| 職種 | <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 医学生 <input type="checkbox"/> 看護学生 <input type="checkbox"/> その他 () | | |
| 専門診療科 | (医師は必須・複数記入可) | | |
| 住所 | | | |
| 電話 | | 医師登録番号 | |
| 電子メール | | | |
| 現在勤務先等 | *学生の場合には、大学名又は学校名を入力してください。 | | 認定医 専門医等 |
| 出身大学 | | | 卒業年 |

2.就職希望先条件

| | |
|------------------|---|
| 希望勤務先 (複数回答可) | <input type="checkbox"/> 市部の病院 <input type="checkbox"/> 市部の診療所 <input type="checkbox"/> 郡部の病院 <input type="checkbox"/> 郡部の診療所 <input type="checkbox"/> 開業 <input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> その他 |
| 勤務形態 | <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> その他 (注)非常勤又はその他を選んだ方は具体的な勤務形態をお答えください。 (例:3日/週程度、10回/月程度など) |
| 勤務等希望時期 | <input type="checkbox"/> 今すぐにも <input type="checkbox"/> ()年()月頃から <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 勤務希望地 (複数回答可) | <input type="checkbox"/> 松江圏域 <input type="checkbox"/> 雲南圏域 <input type="checkbox"/> 出雲圏域 <input type="checkbox"/> 大田圏域 <input type="checkbox"/> 浜田圏域 <input type="checkbox"/> 益田圏域 <input type="checkbox"/> 隠岐圏域 <input type="checkbox"/> 県内どの圏域でも可 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 希望診療科 | |
| その他要望 ご意見等 | |

島根県健康福祉部医療政策課 医師確保対策室

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地 TEL.0852-22-6683 FAX.0852-22-6040 E-mail:akahigebank@pref.shimane.lg.jp

キリトリセン



島根県観光 Map

